

認知症介護指導者と協働した 小学校講座カリキュラムづくり (大阪府高槻市)



2019/8/21
於：天神スカイホール

※ 使用している写真は掲載許可を得ています

社会福祉法人 成光苑
介護老人福祉施設高槻けやきの郷
大阪府認知症介護指導者
引野好裕

社会医療法人 愛仁会
高槻北地域包括支援センター
認知症地域支援推進員
辻田裕之

もし、自分が認知症になったら・・・

**自分のまちで
自分は、どう暮らしていけるだろうか？**



高槻市の概要

総人口 352,496人 (平成30年12月末)

高齢者数 101,699人 (平成30年12月末)

高齢化率 28.8%

日常生活圏域数 4圏域

包括数 委託型 12箇所

推進員数 委託・専任 2名

面積 105,29km²



大阪と京都のほぼ中間にあり、
ベッドタウンとして栄えてきた。中心部は都市化
されているが、北部は山並み、南部は淀川に
面した平野が広がり、地域特性が異なる。



はにたん
所属：高槻市

「はにたん」は高槻市が誇る
今城塚古墳で生まれたんだよ。
誕生日は高槻市の「ハニワの日」の
8月20日
性格は誰にでも優しくお人好しで、
みんなが集まるイベントが大好き。

ゆるキャラグランプリ2016 第9位

高槻市認知症施策の全体像

認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくり
に向けて～（新オレンジプラン）の推進

- 1 認知症への理解を深めるための普及・啓発
- 2 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護の提供
- 3 若年性認知症施策の強化
- 4 認知症の人と介護者への支援
- 5 認知症の人にやさしい地域づくりの推進



認知症地域支援推進員の役割

- ・地域の人・取り組みを繋ぎ、認知症支援ネットワークの構築を目指す
- ・認知症の人への理解と対応力を高める
- ・あくまでも本人主体！本人・家族の声を施策に反映

市民への
啓発活動

認知症
ケアパスの
普及・啓発

見守り
ネットワーク
構築

初期集中
支援チーム
との連携

若年の
人の
支援

認知症
カフェ
後方支援

認知症対応力
向上研修の
企画・実施

多職種連
携研修の
企画・実施

家族会
支援

個別
相談

認知症
サポーター
活動支援

などなど

活動報告（概要）

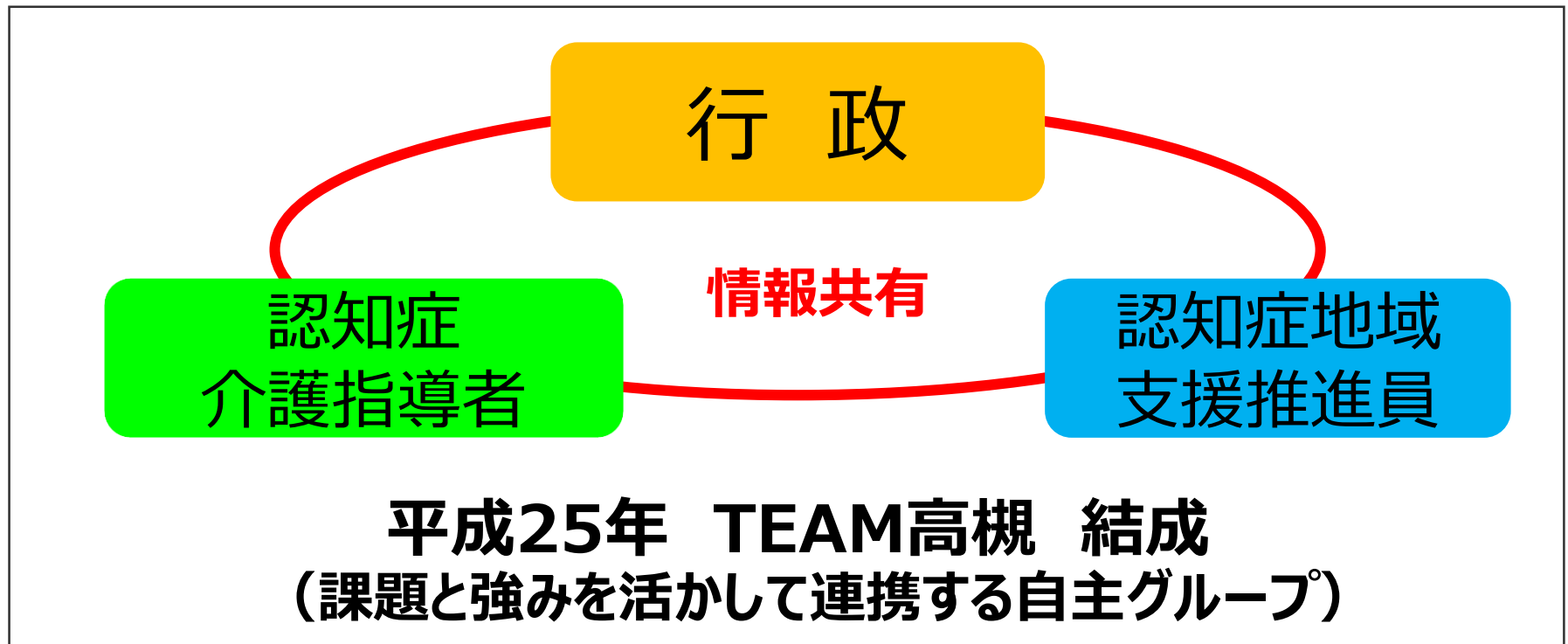
今回お伝えしたい内容は 「認知症介護指導者との協働」です

認知症介護指導者は、行政の認知症施策を理解し、地域全体の認知症ケアのために、適切なアドバイスを行うなどの役割を期待されています。



認知症地域支援推進員だけで地域の取り組みはできません。
小学校講座カリキュラム作成にあたり、認知症介護指導者に
相談、協働した事例を紹介します。

その前に・・・（私が着任する前の話）



活動報告（きっかけ）

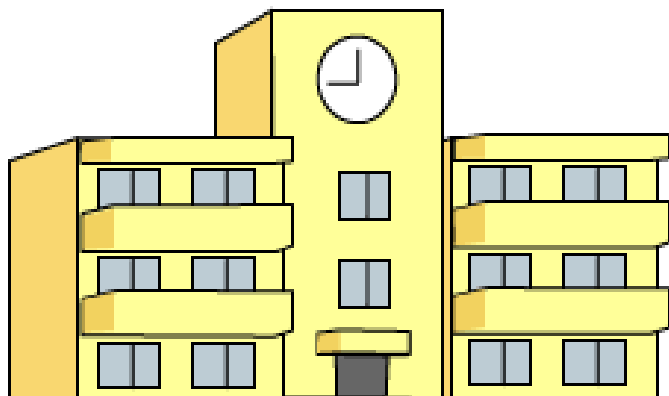
高槻市民生委員

【友愛訪問を通して】

「地域の商店や学校にも
認知症への理解を広めるべき」



高槻市富田地区の民生委員が地域の
小学校の校長先生と面談



高槻市立富田小学校

平成26年度から、認知症の人を含む高齢者への理解の推進を目的に、富田小学校5年生を対象に全10コマ（5日間）の講座を行っている。

活動の位置づけ

～認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）～

学校教育等における、認知症の人を含む高齢者への理解の推進



小・中学校で認知症サポーター養成講座を開催



学校で認知症の人を含む高齢者への理解を深める
ような教育を推進

今後進んでいく少子高齢化に対応できる地域を
作るには、児童に対しての教育が非常に重要！

活動内容

学習ポイント① いまとみらい科の設定

総合学習→いまとみらい科へ
「家庭（命）」「学校」「地域・社会」をテーマに
小・中の9年間で社会参画力の育成を目指す。

学習ポイント② S-RPDCA学習サイクル

自分たちの立ち位置を見つめる（S）→広い視野から学習課題を見つける（R）
計画（P）し、実行（D）する。結果を振り返る（C）→次の学習へ活かす（A）



「ほっとタウン

～自分たちができること」をテーマに
10コマ授業を行うことに

どのようなカリキュラムが効果的かな？



**授業で児童に
伝えたい内容**



**学校の方針：
困っている人に目を向け
地域に関わる意識付け**

- 児童に高齢者の気持ちを知ってもらい、認知症の病気と対応について学んでもらう
- 児童が、困っている人に対して必要なサポートをする方法を学び、地域でどのように関わっていくかを主体性をもって考えてもらう機会をつくる

赤大路小学校認知症講座 ～全5回のカリキュラム内容～

- ① 高齢者の気持ちを学んでもらう
(高齢者擬似体験)
- ② 認知症の病気と対応について学んでもらう
(認知症サポーター養成講座)
- ③ 気付きの視点を養い困っている人への接し方を
学んでもらう (寸劇を通して)
- ④ 実際に地域にでて困っている人に声をかける体験して
もらう (安心声掛け運動)
- ⑤ 地域で困っている人に対し、自分たちに何ができるの
かを、主体的に考え、取り組む機会をもってもらう

高齢者の気持ちを学んでもらう(高齢者疑似体験)

年をとるって
大変…



眼が見えないと
怖い！！



平成28年1月13日

児童に「自分たちに何ができるか」を考えてもらう



認知症の病気と対応についての知識を持ってもらう (認知症サポーター養成講座)



認知症になっても
できる事は
たくさんあるんだ～

認知症は特別な
病気じゃないんだ



**オレンジング！
サポーターになった！**

認知症の事を
知ったので優しく
接してあげたい

2016/01/15

平成28年1月15日

気付きの視点を養い困っている人への接し方を学んでもらう

正面からゆっくりと
話しかけなきゃ...

あんた誰やった？

平成28年1月15日

安心声かけ運動実施 (徘徊模擬訓練)

～実際に地域に出て
声をかけてみよう～

サポート役

認知症の人役

困っている人役



どちらに行かれるん
ですか？



平成28年2月3日

- 地域包括支援センター
- 民生委員・児童委員
- 地区福祉委員
- セーフティボランティア
- PTA
- 地域の医療機関
- 地域の介護保険事業所
- 福祉用具業者
- 認知症介護指導者
- 社会福祉協議会
- 高槻警察署
- 高槻市役所 など

地域の協力のもと行っています

赤大路小学校安心声掛け運動 (実施のご案内)



日 程: 平成29年2月7日(火)

時 間: 14:00~15:30

赤大路小学校5年生「いまとみらい科」において、認知症の人を含む高齢者への理解を深める授業に取り組んでいます。授業の一環として、認知症の人などが自分たちが暮らす地域の中で困っていた場合、それに気づき、声を掛けるなどの必要なサポートをすることが実践できるようになる訓練(安心声掛け運動)を上記の日程で行います。ご理解・ご協力のほど宜しくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

高槻市立赤大路小学校

電話: 072-695-3157

自分たちが困っている人に対し、 何ができるかを考えてもらう



バスに乗った時は、高齢者
や妊婦さんに席をゆずろう



平成28年2月10日

学校の取り組みと今後の目標を発表する 機会をもってもらおう

やさしい声かけをテーマにしたポスターを
駅や店にお願いして貼ってもらおう！



平成28年2月10日

児童たちの実践

週一回、授業時間や放課後に、オレンジリングをつけて
班ごとに地域を探索する

みんなでゴミ拾いをする
すぐしまってしまう踏切や段差の大きい階段に気づいたが
バリアフリーにするのは自分達では無理
しかし、つまづいてこけないようにゴミを拾うことはできる

『困っている人を助ける d a y 』として、
週一回オレンジリングを付け地域を探索し、
ゴミ拾いをするという活動をする事になった



活動の効果①

◎ 認知症介護指導者との連携

認知症介護指導者にどのようにどう関わればよいか分からなかったが、講座のカリキュラム作成づくりをきっかけに、以後は相談・協働できる関係ができた。

【依頼文について】

活動に関わってもらう際には、認知症介護指導者に何を依頼したいかを明確にし、委託元の市役所より依頼文を出してもらうようにしている。



活動の効果②

◎ 講座を通じて関係者が顔の見える関係に

60名近くの関係者が自然と顔馴染みとなり、地域での認知症カフェの立ち上げや勉強会の開催などさまざまな取り組みに発展している。

【関係者には事前に授業の目的と意図を伝達】

学校のねらい、授業内容の趣旨について関係者に向けて事前説明会を行うなどすることで主体的に関わってもらえた。



地域への情報伝達

高槻・島本
ケーブルTV



平成29年8月23日
読売新聞朝刊より



たかつきDAYS
(広報たかつき)
平成28年3月号

認知症地域支援推進員から見た認知症介護指導者

行政の認知症施策は、行政担当者や
認知症地域支援推進員が、その都度
様々な機関と連携して推進していますが・・・。
地域の実情を把握している相談先はなかなかない
ので、**思い悩むこともいっぱい**です・・・。



認知症地域支援推進員から見た認知症介護指導者

高槻市の認知症介護指導者さんは、
あるときは認知症施策における**アドバイザー**、
あるときは**講師**や**ファシリテーター**、
そして一緒に取り組みを行う**仲間**として
とっても**心強い存在**です。

まずは挨拶をし、
知り合いになることが
重要だと思います！



今後の活動展望

認知症介護指導者と共に(行いたい・期待すること)

- ・人材育成研修の企画時のアドバイザーや講師役
- ・啓発イベントでの継続した関わり
- ・高槻市キャラバン・メイト連絡会の立ち上げ
- ・推進員活動全般においてのアドバイザー

仲間として共に行っていきたいこと

- ・RUN伴高槻実行委員会
- ・わくわくプロジェクトわかば（メンバーがしたいことを実現させる自主グループ）にて認知症当事者とともにスポーツの実践

一歩踏み出すための“場”は重要

- ・ 何かしたい時、何かあった時、助け合える仲間づくり。



イベントはわりと有効な手段のひとつ



イベントに関しては、さまざまな意見、批判的な意見もありますが、“人が集まる”ということは、大きな意味がある。次につながっていく。

⇒とにかく、自分が楽しみましょう。

⇒そして、楽しさを共有する仲間。

ご清聴ありがとうございました！



RUN伴2016 高槻市役所前にて